



11月は「児童虐待防止推進月間」

あなたの気づきが 子どもたちを守ります



●問い合わせ先

子どもサポートセンター（子ども家庭支援課） ☎71 - 0450

それは「しつけ?」「虐待?」

「しつけ」と称しての体罰や暴言等が、虐待として禁止されていることはよく知られていますが、近頃は「マルトリートメント」といって、体罰や暴言にまでいたらなくても不適切な関わり・養育をすることで、子どもへの精神的な問題の発生や、攻撃性の増加、親子関係の悪化、反社会的な行動の増加といったリスクが高まるなど「身体と心の成長や発達に悪い影響が出る」ということが科学的にわかっています。

「いかなる理由があっても虐待は認められない」とわかっているにもかかわらず、いろいろな状況や理由によって、それが難しいと感じられることもあるでしょう。子育てとは本当に大変なことです。でも子育ての大変さを保護者だけで抱えこむ必要はありません。少しでも困ったことがあれば、子どもサポートセンターにご相談ください。どうしたらよいか、一緒に考えましょう。

こんなこともマルトリートメントです!

身体的 マルトリートメント

- 叩く
- 罰として長時間正座をさせる

性的 マルトリートメント

- 嫌がる子どもとお風呂に入る
- 親がお風呂あがりに裸で部屋をウロウロする

これらの行為をすると子どもの脳は簡単に傷つき、将来の行動に影響を与えてしまいます。

心理的 マルトリートメント

- 人格否定
- 言葉の暴力
- 他の子と比べる
- 子どもの支配
- 子どもの前で夫婦喧嘩

ネグレクト

- 低年齢の児童を一人で留守番をさせる
- スマホなどで長時間子どもに動画視聴・ゲームを許す
- 子どもに食事や教育を与えない

気づいてください! SOSのサイン

子どもへの虐待は、それぞれの家族が抱える問題に加え、地域での孤立などが背景にあります。虐待を受けている子どもは自分から「助けて」とは言いづらいものです。また、その親が虐待の事実を他人に告げることもほぼありません。子ども、保護者、家庭それぞれの様子にいつもと違ったもの、ことを感じたら、それは【SOS】のサインかもしれません。子どもたちを虐待から守るために、子育て家庭からの【SOS】に気づいてください。地域で「虐待かな?」と感じたら、子どもサポートセンター、児童相談所（下記二次元コード、電話番号）にご連絡ください。

子育て中の保護者が孤立・孤独に陥ることのないよう、子育てを地域全体で支え、子どもの権利が守られる虐待のない社会を実現していきましょう。



子どもサポートセンター LINE

相談を
もっと気軽に!
【LINE相談】



児童相談所

たとえ勘違いだったとしても。

「あの親子、大丈夫かな」と思ったら、迷わずご連絡ください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル

- 通話料無料 ●匿名でも大丈夫です
- お住まいの地域の児童相談所につながります
- 秘匿情報は厳守します ※一部のIP電話からは繋がりません

いち はや く
189



特設サイトはこちら